

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

13002

湊御殿管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	湊御殿管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	宮脇 進 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市指定文化財(建造物)湊御殿を適切に維持管理する。		市指定文化財(建造物)湊御殿を適切に維持管理する。			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		建物および庭園の維持管理、附属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数 2,336人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数 2,249人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数 4,539人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	11,655	11,818	9,550	9,445	9,552	9,538	10,264	0	10,264	0
伸び率(%)	21.7%	5.5%	△18.1%	△20.1%	0%	1%	7.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,071	2,071	2,017	2,095	5,011	6,208	6,208	0	6,208
	正規職員以外	11,253	11,253	9,865	9,941	13,770	13,770	13,667	0	13,667
	小計	13,324	13,324	11,882	12,036	18,781	19,978	19,875	0	19,875
国庫支出金	0	0	1,362	1,358	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	74	65	75	0	75	97	75	0	75	0
一般財源(税等)	11,581	11,753	8,113	8,087	9,477	9,441	10,189	0	10,189	0
所要人数(人)	正規職員	0.26	0.26	0.26	0.27	0.67	0.83	0.83	0.00	0.83
	正規職員以外	4.72	4.72	3.74	3.78	3.95	3.95	3.93	0.00	3.93
主な予算内訳	使用料及び賃借料(土地借上料) 5,550千円 植栽等委託料 2,398千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開場日数	日	目標値	366	365	365	366	365
		実績値	354	365	365		
		達成度(%)	96.7%	100%	100%	%	%
観覧者数	人	目標値	9000	9000	9000	9000	9000
		実績値	2336	2249	4539		
		達成度(%)	25.7%	23.4%	50.4%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	通年開場しているにもかかわらず、観覧者数が減少傾向となっているため、多くの人に来ていただける仕組み作りが必要となっている。令和4年度は新型コロナウイルスが蔓延していたが、団体客の茶室使用等もあり観覧者数が回復してきた。
見直し・改善内容	平成24年4月1日から観覧料を半額（一般100円）にするとともに、養翠園・和歌山城・旧中筋家住宅・市立博物館に1週間以内に入場した者は湊御殿観覧料を無料にし、観覧者数の増加を図っている。